

## "微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング" 2022

### 共催：日本金属学会第4分科

2019年度に発足しました「微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング」の第4回研究集会を徳島市内にて開催いたします。今回の招待講演テーマは、「微小材料試験法の最前線」です。圧入・単軸変形、それらの関係や応用例を議論します。招待講演のほかに、学生・若手研究者を対象としたポスター発表会（現地開催）を行い、ポスター賞を授与いたします（副賞あり）。皆様どうぞ奮ってご参加ください。

日時：2022年 11月24日（木）13時00分～17時00分  
11月25日（金）9時00分～12時00分

場所：ザ・グランドパレスホテル 徳島市寺島本町西1丁目60-1（JR徳島駅 至近）  
4F メイプルルーム <https://www.gphotel.jp/>

企画責任者：大村孝仁（物質・材料研究機構）

参加費：一般 5,000円 学生 1,000円

\*対面を基本としますが、オンライン参加（参加費は同額）も受け付けます。  
\*支払い方法については申込者に折り返しメール連絡します。

交流会費：別途ご案内（11/24予定 \*コロナの状況により判断）

#### 申込・問合せ先：

A. または B. を選択いただき、下記項目をメールにてお申込みください。

A. ポスター発表希望者：ポスター題目、発表者氏名、所属・身分〔若手（35歳未満）or 学生（高専/学部/修士/博士）〕、メールアドレス

〆切：11月11日（金） \*先着20編

B. 聴講のみ希望者：氏名、所属、メールアドレス、現地 or オンラインの別

〆切：当日まで申し込み受付可

申し込み先：micromech\_jim@nims.go.jp

"微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング" 2022

事務局：物質・材料研究機構 井口

<http://nims.nims.go.jp/group/sdg/micromech-jim/>

宿泊：各自で手配願います。研究会会場ホテルを割引価格でご利用いただけます。ご予約の際、研究会名をホテルにお伝えください。

## プログラム

### 【第1日目】

2022年11月24日(木)

- 13:00 受付開始
- 13:25 開会挨拶・趣旨説明(大村孝仁 物質・材料研究機構)
- 13:30 基調講演  
服部浩一郎(産業技術総合研究所 計量標準総合センター)  
「ナノインデンテーション試験の規格について」

(14:15-14:45 休憩)

- 14:45 ポスターセッション
- 16:45 終了
- 17:30 交流会(予定)

### 【第2日目】

11月25日(金)

- 9:00 受付開始
- 9:15 招待講演  
郭光植(熊本大学大学院 先端科学研究部)  
「マイクロ・ナノ材料試験によるラスマルテンサイトの微小力学特性評価」
- 9:45 後藤健太(元 NIMS)  
「拡散対インデンテーション法による NiCoCr 系合金のハイスループット強度評価」

(10:15-10:30 休憩)

- 10:30 古賀紀光(金沢大学大学院 理工研究域機械工学系)  
「ヘテロナノ組織ステンレス鋼の組織と硬さの関係」
- 11:00 安田武司(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科)  
「クロムモリブデン鋼レーザ焼入れ部の生成組織とナノ硬さ試験」
- 11:30 ポスター賞授賞式
- 11:55 全体講評・閉会挨拶(大村)

(ご参考)

会議ツール：Webex 企業有料版を利用（会議参加者に URL をお送りします。アプリ等のダウンロードは必要ありません。）

以下のオンライン発表に伴うリスクについての注意喚起もお読みください。

#### 【オンライン発表に伴うリスクについての注意喚起】

研究発表には、現地開催とオンライン開催とにかかわらず、以下のようなリスクがあります。中でもオンライン開催では、密室から参加することが可能で講演会場のような衆人監視が行われないこと及び講演がWeb上で配信されることから、これらのリスクが高まることが懸念されます。本研究会では、リスクの高まりに対処するために、有料版ツールを使ってポスター審査や会議開催を行う、参加者の監視を行うなど考える対策を取りますが、最後は参加者のモラルに訴えざるを得ません。これらを理解の上、十分に注意して今回の研究会への参加の申し込み及び発表いただきますようお願いいたします。

#### ・発表に伴うリスク

##### 1. 研究情報を不正に取得される

不正聴講、講演の録画・録音・撮影（スクリーンショットを含む）が行われてしまう可能性が否定できない。

※有料版ツールの利用やパスワード発行によって参加者を限定するとともに、録画・録音・撮影等の禁止を周知徹底しますが、最終的には参加者にモラルを守っていただくこととなります。

※本研究会で使用するオンライン会議ツールでは録画機能は使えません。

##### 2. 著作権を侵害してしまう

他人が著作権を持つ音声、映像、画像、写真の安易な使用（引用）により、著作権を侵害してしまう可能性が否定できない。

※文献などはこれまでの学会発表などと同様、適切な引用がされていれば問題ありません。

発表資料作成上のガイドラインについては、準備が整い次第ご案内いたします。